

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3199112号
(U3199112)

(45) 発行日 平成27年8月6日(2015.8.6)

(24) 登録日 平成27年7月15日(2015.7.15)

(51) Int.Cl.

F 1

A 6 3 H 3/00 (2006.01)

A 6 3 H 3/00

G

A 6 3 H 3/36 (2006.01)

A 6 3 H 3/36

B

評価書の請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 19 頁)

(21) 出願番号 実願2015-2603 (U2015-2603)
(22) 出願日 平成27年5月26日(2015.5.26)(73) 実用新案権者 308014352
株式会社バンプレスト
東京都品川区東品川四丁目12番2号
(74) 代理人 100081363
弁理士 高田 修治
(72) 考案者 岸 太一
東京都品川区東品川四丁目12番2号 株
式会社バンプレスト内

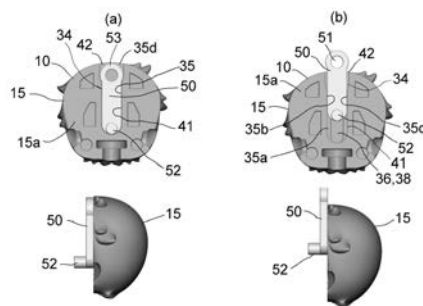
(54) 【考案の名称】 吊り下げ玩具

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】係止フックが自重により玩具本体内に没入し、吊り下げる時は玩具本体をひっくり返して自重で係止フックを突出させる吊り下げ玩具を提供する。

【解決手段】吊り下げ玩具は、玩具本体10と係止フック50とからなる。係止フック50は、一方に係止孔51が形成され、他方に被係合部52が設けられている。玩具本体10は、係止フックを案内する案内部34を有する。案内部には、係止フックを玩具本体から出没させる開口42と、係止フックを開口に摺動可能に案内するガイド凹部41と、ガイド凹部に形成され、係止フックの被係合部52に係合し、係止フックの摺動範囲を規制する係合部36, 38とが設けられている。

【選択図】図7



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

玩具本体と係止フックとからなり、

係止フックは、細長状に形成され、長手方向の一方に係止孔が形成され、長手方向の他方に被係合部が設けられ、

玩具本体は、係止フックを案内する案内部を有し、

案内部には、前記係止フックを玩具本体から出沒させる開口と、前記係止フックを開口に摺動可能に案内するガイド凹部と、前記ガイド凹部内に形成され、前記係止フックの被係合部に係合し、係止フックの摺動範囲を規制する係合部とが設けられ、

前記係止フックは、前記案内部のガイド凹部内に、自重により開口から出沒するように設けられ、被係合部が案内部の係合部に係合して係止孔の突出範囲が規制され、開口を上部にすると玩具本体内に没入し、開口を下部にすると玩具本体から突出することを特徴とする吊り下げ玩具。

10

【請求項 2】

前記玩具本体は、前体部と後体部の二分割で構成され、

前体部と後体部の接合面に、前体部と後体部を接合することにより案内部のガイド凹部を形成するガイド溝が形成され、

前記ガイド溝に前記係合部が形成されていることを特徴とする請求項 1 記載の吊り下げ玩具。

【請求項 3】

玩具本体には、案内部品が取り付けられ、

案内部品に前記案内部が形成されていることを特徴とする請求項 1 記載の吊り下げ玩具。

20

【請求項 4】

前記玩具本体は、前体部と後体部の二分割で構成され、

前体部と後体部の接合面に、前記案内部品を嵌合して取り付ける前嵌合凹部と後嵌合凹部が形成され、

前記案内部品は、前部品と後部品の二分割で構成され、

前部品と後部品の接合面に、前部品と後部品を接合することにより案内部のガイド凹部を形成するガイド溝が形成され、

前記ガイド溝に前記係合部が形成されていることを特徴とする請求項 3 記載の吊り下げ玩具。

30

【請求項 5】

前記係止フックの被係合部は、係合軸又は係合長孔で形成され、

前記案内部の係合部は、前記係止フックの係合軸に係合する係合長溝又は前記係止フックの係合長孔に係合する係合突起で形成されており、

前記係止フックは、係合軸又は係合長孔が案内部の係合長溝又は係合突起に係合して係止孔の突出範囲が規制されていることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の吊り下げ玩具。

【請求項 6】

前記係止フックの一方側端部は、前記開口を塞ぎ、前記玩具本体の外面の一部を構成することを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の吊り下げ玩具。

40

【請求項 7】

前記玩具本体は、胴体と頭体からなる人形玩具の頭体であって、

前記係止フックは、頭体に設けられ、頭体の上部に設けられた開口から出沒するように構成されていることを特徴とする請求項 1 記載の吊り下げ玩具。

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本願考案は、出沒する係止フックを備えた吊り下げ玩具に関する。

50

【背景技術】

【0002】

従来、吊り下げることができる吊り下げ玩具が存在した。この吊り下げ玩具は、一側に係止フックを備え、係止フックをストラップ、キーホルダー等の懸吊部材に取り付け、携帯電話、バッグ、財布等の小物入れにぶら下げて携帯できる（例えば、特許文献1）。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0003】

【特許文献1】実用新案登録第3121098号公報

【考案の概要】

10

【考案が解決しようとする課題】

【0004】

上記した吊り下げ玩具は、吊り下げていない状態、即ち台、机上に載置している状態の時は、一側から係止フックが常に突出しているため、外観上好ましくなく、見栄えが悪いという問題点があった。また、係止フックが常に突出しているため、引っ掛け易く、邪魔であるという問題点があった。

【0005】

本願考案は、上記問題点に鑑み案出したものであって、載置している状態の時は、係止フックが自重により玩具本体内に没入しているため、外観上好ましく、邪魔にはならず、吊り下げる時は玩具本体をひっくり返して自重で係止フックを突出させる吊り下げ玩具を提供することを目的とする。

20

【課題を解決するための手段】

【0006】

本願請求項1に係る吊り下げ玩具は、上記目的を達成するため、玩具本体と係止フックとからなり、係止フックは、細長状に形成され、長手方向の一方に係止孔が形成され、長手方向の他方に被係合部が設けられ、玩具本体は、係止フックを案内する案内部を有し、案内部には、前記係止フックを玩具本体から出沒させる開口と、前記係止フックを開口に摺動可能に案内するガイド凹部と、前記ガイド凹部内に形成され、前記係止フックの被係合部に係合し、係止フックの摺動範囲を規制する係合部とが設けられ、前記係止フックは、前記案内部のガイド凹部内に、自重により開口から出沒するように設けられ、被係合部が案内部の係合部に係合して係止孔の突出範囲が規制され、開口を上部にすると玩具本体内に没入し、開口を下部にすると玩具本体から突出することを特徴とする。

30

【0007】

本願請求項2に係る吊り下げ玩具は、上記目的を達成するため、前記玩具本体は、前体部と後体部の二分割で構成され、前体部と後体部の接合面に、前体部と後体部を接合することにより案内部のガイド凹部を形成するガイド溝が形成され、前記ガイド溝に前記係合部が形成されていることを特徴とする。

【0008】

本願請求項3に係る吊り下げ玩具は、上記目的を達成するため、玩具本体には、案内部品が取り付けられ、案内部品に前記案内部が形成されていることを特徴とする。

40

【0009】

本願請求項4に係る吊り下げ玩具は、上記目的を達成するため、前記玩具本体は、前体部と後体部の二分割で構成され、前体部と後体部の接合面に、前記案内部品を嵌合して取り付ける前嵌合凹部と後嵌合凹部が形成され、前記案内部品は、前部品と後部品の二分割で構成され、前部品と後部品の接合面に、前部品と後部品を接合することにより案内部のガイド凹部を形成するガイド溝が形成され、前記ガイド溝に前記係合部が形成されていることを特徴とする。

【0010】

本願請求項5に係る吊り下げ玩具は、上記目的を達成するため、前記係止フックの被係合部は、係合軸又は係合長孔で形成され、前記案内部の係合部は、前記係止フックの係合

50

軸に係合する係合長溝又は前記係止フックの係合長孔に係合する係合突起で形成されており、前記係止フックは、係合軸又は係合長孔が案内部の係合長溝又は係合突起に係合して係止孔の突出範囲が規制されていることを特徴とする。

【 0 0 1 1 】

本願請求項 6 に係る吊り下げ玩具は、上記目的を達成するため、前記係止フックの一方側端部は、前記開口を塞ぎ、前記玩具本体の外面の一部を構成することを特徴とする。

【 0 0 1 2 】

本願請求項 7 に係る吊り下げ玩具は、上記目的を達成するため、前記玩具本体は、胴体と頭体からなる人形玩具の頭体であって、前記係止フックは、頭体に設けられ、頭体の上部に設けられた開口から出沒するように構成されていることを特徴とする。

10

【 考案の効果 】

【 0 0 1 3 】

本願考案に係る吊り下げ玩具は、玩具本体と係止フックとからなる。係止フックは、細長状に形成され、長手方向の一方に係止孔が形成され、長手方向の他方に被係合部が設けられている。玩具本体は、係止フックを案内する案内部を有する。案内部には、前記係止フックを玩具本体から出沒させる開口と、前記係止フックを開口に摺動可能に案内するガイド凹部と、前記ガイド凹部内に形成され、前記係止フックの被係合部に係合し、係止フックの摺動範囲を規制する係合部とが設けられている。前記係止フックは、前記案内部のガイド凹部内に、自重により開口から出沒するように設けられ、被係合部が案内部の係合部に係合して係止孔の突出範囲が規制され、開口を上部にすると玩具本体内に没入し、開口を下部にすると玩具本体から突出する。

20

【 0 0 1 4 】

本願考案に係る吊り下げ玩具は、玩具本体の開口を上向きにして、玩具本体を台、机上に載置すると、係止フックが自重により玩具本体のガイド凹部内に没入しているので、外観を損なうことなく見た目を良くし、引っ掛け易い邪魔な部分がないという効果がある。また、吊り下げる時は、玩具本体の開口を下側に向けるだけで、係止フックが自重で突出し、係止フックの係止孔にストラップ、キーホルダー等の懸吊部材に取り付け、簡単に吊り下げ玩具にすることができるとい効果がある。

【 0 0 1 5 】

本願考案に係る吊り下げ玩具は、前記玩具本体が前体部と後体部の二分割で構成されている。前体部と後体部の接合面には、前体部と後体部を接合することにより案内部のガイド凹部を形成するガイド溝が形成されている。前記ガイド溝には前記係合部が形成されている。

30

【 0 0 1 6 】

本願考案に係る吊り下げ玩具は、上記効果に加え、前体部と後体部を接合すると、前体部の接合面に形成されたガイド溝と後体部の接合面に形成されたガイド溝が重なってガイド凹部を形成するので、前体部と後体部を接合する前に、前体部又は後体部のガイド溝に係止フックを配置しておくことができ、組み立てが容易であるという効果がある。また、ガイド溝に係合部を形成できるので、製造が容易であるという効果がある。

【 0 0 1 7 】

本願考案に係る吊り下げ玩具は、上記効果に加え、玩具本体に案内部品が取り付けられ、当該案内部品に前記案内部が形成されている。玩具本体と材質等の異なる別の案内部品に案内部を形成することにより、係止フックの出沒をより一層滑らかにすることができるという効果がある。

40

【 0 0 1 8 】

本願考案に係る吊り下げ玩具は、前記玩具本体が前体部と後体部の二分割で構成され、前体部と後体部の接合面に、前記案内部品を嵌合して取り付ける前嵌合凹部と後嵌合凹部が形成されている。前記案内部品は、前部品と後部品の二分割で構成され、前部品と後部品の接合面に、前部品と後部品を接合することにより案内部のガイド凹部を形成するガイド溝が形成され、前記ガイド溝に前記係合部が形成されている。

50

【 0 0 1 9 】

本願考案に係る吊り下げ玩具は、上記効果に加え、前部品と後部品を接合すると、前部品の接合面に形成されたガイド溝と後部品の接合面に形成されたガイド溝が重なってガイド凹部を形成するので、前部品と後部品を接合する前に、前部品又は後部品のガイド溝に係止フックを配置しておくことができ、組み立てが容易であるという効果がある。また、ガイド溝に係合部を形成できるので、製造が容易であるという効果がある。係止フックをガイド凹部に摺動可能に取り付けた案内部品を、前体部の接合面に形成された前嵌合凹部と後体部の接合面に形成された後嵌合凹部に嵌合するようにして、前体部と後体部を接合することによって、簡単に組み立てができるという効果がある。

【 0 0 2 0 】

本願考案に係る吊り下げ玩具は、前記係止フックの被係合部が、係合軸又は係合長孔で形成されている。前記案内部の係合部は、前記係止フックの係合軸に係合する係合長溝又は前記係止フックの係合長孔に係合する係合突起で形成されている。前記係止フックは、係合軸又は係合長孔が案内部の係合長溝又は係合突起に係合して係止孔の突出範囲が規制されている。

【 0 0 2 1 】

本願考案に係る吊り下げ玩具は、上記効果に加え、係合軸が係合長溝に摺動可能に係合し、係合軸の移動できる範囲が係合長溝によって規制され、又は、係合長孔が係合突起に摺動可能に係合し、係合長孔の移動できる範囲が係合突起によって規制されているので、係止フックの係止孔の突出範囲が規制され、係止フックがガイド凹部から飛び出してしまうことがないという効果がある。

【 0 0 2 2 】

本願考案に係る吊り下げ玩具は、前記係止フックの一方側端部が、前記開口を塞ぎ、前記玩具本体の外面の一部を構成するので、開口が見え難くなっており、玩具本体の外観を損なうことがないという効果がある。

【 0 0 2 3 】

本願考案に係る吊り下げ玩具は、前記玩具本体が、胴体と頭体からなる人形玩具の頭体である。前記係止フックは、頭体に設けられ、頭体の上部に設けられた開口から出沒するように構成されている。

【 0 0 2 4 】

本願考案に係る吊り下げ玩具は、頭体の開口を上向きにして、人形玩具を台、机上に立たせると、係止フックが自重により頭体のガイド凹部に没入しているので、人形玩具の外観を損なうことなく見た目を良くし、引っ掛け易い邪魔な部分がないという効果がある。また、吊り下げる時は、頭体の開口を下側に向けるだけで、係止フックが自重で突出し、係止フックの係止孔にストラップ、キーホルダー等の懸吊部材に取り付け、簡単に吊り下げ人形玩具にすることができるという効果がある。

【 図面の簡単な説明 】

【 0 0 2 5 】

【 図 1 】本願考案の一実施例に係る吊り下げ玩具の斜視図であって、（ a ）が前方からみた斜視図、（ b ）が後方からみた斜視図である。

【 図 2 】図 1 の吊り下げ玩具の動きを説明する斜視図であって、（ a ）が開口を上向きにした斜視図、（ b ）が開口を下向きにした斜視図である。

【 図 3 】人形玩具の胴体を説明する説明図である。

【 図 4 】図 3 の胴体の内部構造を説明する説明図である。

【 図 5 】吊り下げ玩具の頭体を一方からみた分解斜視図である。

【 図 6 】図 5 の頭体を他方からみた分解斜視図である。

【 図 7 】図 5 の頭体内の係止フックの動きを説明する説明図である。

【 図 8 】他の形態の頭体を一方からみた分解斜視図である。

【 図 9 】図 8 の頭体を他方からみた分解斜視図である。

【 図 1 0 】図 8 の頭体内の係止フックの動きを説明する説明図である。

【図 1 1】頭髮を省略した他の吊り下げ玩具の正面図であって、(a)が前方からみた図、(b)が前方からみた透視図である。

【図 1 2】図 1 1 の頭体の分解斜視図である。

【図 1 3】図 1 1 の案内部品の分解斜視図である。

【図 1 4】図 1 1 の頭体内の係止フックの動きを説明する説明図である。

【考案を実施するための形態】

【0026】

吊り下げ玩具 1 は、図 1, 2 に示すように、玩具本体 10 と係止フック 50 とからなる。係止フック 50 は、図 5 に示すように、細長状に形成され、長手方向の一方に係止孔 51 が形成され、長手方向の他方に被係合部 52 が設けられている。玩具本体 10 は、図 7 10 に示すように、係止フック 50 を案内する案内部 34 を有する。案内部 34 には、前記係止フック 50 を玩具本体 10 から出沒させる開口 42 と、前記係止フック 50 を開口 42 に摺動可能に案内するガイド凹部 41 と、前記ガイド凹部 41 内に形成され、前記係止フック 50 の被係合部 52 に係合し、係止フック 50 の摺動範囲を規制する係合部 36, 38 とが設けられている。前記係止フック 50 は、前記案内部 34 のガイド凹部 41 内に、自重により開口 42 から出沒するように設けられ、被係合部 52 が案内部 34 の係合部 36, 38 に係合して係止孔 51 の突出範囲が規制され、開口 42 を上部にすると玩具本体 10 内に没入し(図 7(a)参照)、開口 42 を下部にすると玩具本体 10 から突出する(図 7(b)参照)。

【0027】

吊り下げ玩具 1 は、図 1 に示すように、玩具本体 10 の開口 42 を上向きにして、玩具本体 10 を台、机上に載置すると、係止フック 50 が自重により玩具本体 10 のガイド凹部 41 内に没入しているので、外観を損なうことなく見た目を良くし、引っ掛け易い邪魔な部分がない。また、吊り下げる時は、図 2(b)に示すように、玩具本体 10 の開口 42 を下側に向けるだけで、係止フック 50 が自重で突出し、係止フック 50 の係止孔 51 にストラップ、キーホルダー等の懸吊部材に取り付け、簡単に吊り下げ玩具にすることができる。

【0028】

吊り下げ玩具 1 は、図 5, 6 に示すように、前記玩具本体 10 が前体部 11 と後体部 15 の二分割で構成されている。前体部 11 と後体部 15 の接合面 12a, 13a, 15a には、前体部 11 と後体部 15 を接合することにより案内部 34 のガイド凹部 41 を形成するガイド溝 37, 39, 35 が形成されている。前記ガイド溝 37, 39, 35 には前記係合部 38, 36 が形成されている。

【0029】

吊り下げ玩具 1 は、前体部 11 と後体部 15 を接合すると、前体部 11 の接合面 12a, 13a に形成されたガイド溝 37, 39 と後体部 15 の接合面 15a に形成されたガイド溝 35 が重なってガイド凹部 41 を形成するので、前体部 11 と後体部 15 を接合する前に、前体部 11 又は後体部 15 のガイド溝 37, 39, 35 に係止フック 50 を配置しておくことができ、組み立てが容易である。また、ガイド溝 37, 39, 35 に係合部 38, 36 を形成できるので、製造が容易である。

【0030】

吊り下げ玩具 1 は、図 11, 12 に示すように、玩具本体 10 に案内部品 60 が取り付けられ、当該案内部品 60 に前記案内部 34 が形成されている。玩具本体 10 と材質等の異なる別の案内部品 60 に案内部 34 を形成することにより、係止フック 50 の出沒をより一層滑らかにすることができる。

【0031】

吊り下げ玩具 1 は、図 12 に示すように、前記玩具本体 10 が前体部 11 と後体部 15 の二分割で構成され、前体部 11 と後体部 15 の接合面 12a, 13a, 15a に、前記案内部品 60 を嵌合して取り付ける前嵌合凹部 19 と後嵌合凹部 29 が形成されている。前記案内部品 60 は、前部品 61 と後部品 62 の二分割で構成され、前部品 61 と後部品

10

20

30

40

50

6 2 の接合面 6 1 a , 6 2 a に、前部品 6 1 と後部品 6 2 を接合することにより案内部 3 4 のガイド凹部 4 1 を形成するガイド溝 3 7 , 3 5 が形成され、前記ガイド溝 3 7 , 3 5 に係合部 4 3 、3 8 , 3 6 が形成されている。

【0032】

吊り下げ玩具 1 は、前部品 6 1 と後部品 6 2 を接合すると、前部品 6 1 の接合面 6 1 a に形成されたガイド溝 3 7 と後部品 6 2 の接合面 6 2 a に形成されたガイド溝 3 5 が重なってガイド凹部 4 1 を形成するので、前部品 6 1 と後部品 6 2 を接合する前に、前部品 6 1 又は後部品 6 2 のガイド溝 3 7 , 3 5 に係止フック 5 0 を配置しておくことができ、組み立てが容易である。また、ガイド溝 3 7 , 3 5 に係合部 4 3 を形成できるので、製造が容易である。吊り下げ玩具 1 は、係止フック 5 0 をガイド凹部 4 1 に摺動可能に取り付け 10 た案内部品 6 0 を、前体部 1 1 の接合面 1 2 a に形成された前嵌合凹部 1 9 と後体部 1 5 の接合面 1 5 a に形成された後嵌合凹部 2 9 に嵌合するようにして、前体部 1 1 と後体部 1 5 を接合することによって、簡単に組み立てができる。

【0033】

吊り下げ玩具 1 は、前記係止フック 5 0 の被係合部が、係合軸 5 2 又は係合長孔 5 4 で形成されている。前記案内部 3 4 の係合部は、前記係止フック 5 0 の係合軸 5 2 に係合する係合長溝 3 6 , 3 8 又は前記係止フック 5 0 の係合長孔 5 4 に係合する係合突起 4 3 で形成されている。前記係止フック 5 0 は、係合軸 5 2 又は係合長孔 5 4 が案内部 3 4 の係合長溝 3 6 , 3 8 又は係合突起 4 3 に係合して係止孔 5 1 の突出範囲が規制されている。

【0034】

吊り下げ玩具 1 は、図 7 に示すように、係合軸 5 2 が係合長溝 3 6 , 3 8 に摺動可能に係合し、係合軸 5 2 の移動できる範囲が係合長溝 3 6 , 3 8 によって規制され、又は、図 10 に示すように、係合長孔 5 4 が係合突起 4 3 に摺動可能に係合し、係合長孔 5 4 の移動できる範囲が係合突起 4 3 によって規制されているので、係止フック 5 0 の係止孔 5 1 の突出範囲が規制され、係止フック 5 0 がガイド凹部 4 1 から飛び出してしまうことがない。

【0035】

吊り下げ玩具 1 は、前記係止フック 5 0 の一方側端部 5 3 が、前記開口 4 2 を塞ぎ、前記玩具本体 1 0 の外面の一部を構成するので、開口 4 2 が見え難くなっており、玩具本体 1 0 の外観を損なうことがない。

【0036】

吊り下げ玩具 1 は、図 1 に示すように、前記玩具本体が胴体 2 と頭体 1 0 からなる人形玩具 1 の頭体 1 0 である。前記係止フック 5 0 は、頭体 1 0 に設けられ、頭体 1 0 の上部に設けられた開口 4 2 から出沒するように構成されている。

【0037】

吊り下げ玩具 1 は、図 1 に示すように、頭体 1 0 の開口 4 2 を上向きにして、人形玩具を台、机上に立たせると、係止フック 5 0 が自重により頭体 1 0 のガイド凹部 4 1 内に没入しているので、人形玩具の外観を損なうことなく見た目を良くし、引っ掛け易い邪魔な部分がない。また、吊り下げる時は、図 2 (b) に示すように、頭体 1 0 の開口 4 2 を下側に向けるだけで、係止フック 5 0 が自重で突出し、係止フック 5 0 の係止孔 5 1 にストラップ、キーホルダー等の懸吊部材に取り付け、簡単に吊り下げ人形玩具にすることができる。

【0038】

さらに吊り下げ玩具について詳細に説明する。図 1 に示すように、人形玩具 1 は、胴体 2 と頭体 1 0 とからなる。図 3 , 4 に示すように、胴体 2 は、上半身部 3 と、上半身部 3 の肩部に回動可能に取り付けられた腕部 4 , 5 と、上半身部 3 の下部に回動可能に取り付けられた脚部 6 , 7 と、上半身部 3 の上部に形成された首部 8 とからなる。首部 8 は、軸部 8 a と、軸部 8 a の上端に形成されたフランジ 8 b とで構成されている。

【0039】

頭体 1 0 は、図 5 , 6 に示すように、前頭部 1 1 と後頭部 1 5 の二分割で構成されてい

10

20

30

40

50

る。さらに、前頭部 1 1 は、顔面部 1 2 と前髪部 1 3 で構成されている。顔面部 1 2 の接合面 1 2 a には、一对の中間嵌合凸部 1 6 a , 1 6 b と下部嵌合凸部 1 7 a , 1 7 b が形成されている。また、前髪部 1 3 の接合面 1 3 a には、一对の上部嵌合凸部 1 8 a , 1 8 b が形成されている。後頭部 1 5 の接合面 1 5 a には、一对の中間嵌合凹部 2 6 a , 2 6 b と、一对の下部嵌合凹部 2 7 a , 2 7 b と、一对の上部嵌合凹部 2 8 a , 2 8 b が形成されている。頭体 1 0 は、顔面部 1 2 の一对の中間嵌合凸部 1 6 a , 1 6 b を後頭部 1 5 の一对の中間嵌合凹部 2 6 a , 2 6 b に嵌合し、顔面部 1 2 の一对の下部嵌合凸部 1 7 a , 1 7 b を後頭部 1 5 の一对の下部嵌合凹部 2 7 a , 2 7 b に嵌合し、前髪部 1 3 の一对の上部嵌合凸部 1 8 a , 1 8 b を後頭部 1 5 の一对の上部嵌合凹部 2 8 a , 2 8 b に嵌合して、顔面部 1 2 と前髪部 1 3 を後頭部 1 5 に連結して組み立てられる。

10

【 0 0 4 0 】

図 5 に示すように、前記後頭部 1 5 の接合面 1 5 a 下部には、前記胴体 2 の首部 8 を嵌合する首部嵌合凹部 3 2 が形成されている。首部嵌合凹部 3 2 は、半軸凹部 3 2 a と半フランジ凹部 3 2 b とからなる。図 6 に示すように、前記顔面部 1 2 の接合面 1 2 a 下部には、前記胴体 2 の首部 8 を嵌合する首部嵌合凹部 3 1 が形成されている。首部嵌合凹部 3 1 は、半軸凹部 3 1 a と半フランジ凹部 3 1 b とからなる。頭体 1 0 は、胴体 2 の首部 8 に回動可能に取り付けることができる。即ち、胴体 2 の軸部 8 a の両側から後頭部 1 5 の半軸凹部 3 2 a と顔面部 1 2 の半軸凹部 3 1 a を嵌合し、胴体 2 のフランジ 8 b の両側から後頭部 1 5 の半フランジ凹部 3 2 b と顔面部 1 2 の半フランジ凹部 3 1 b を嵌合して、上記したように顔面部 1 2 を後頭部 1 5 に連結する。このようにして、頭体 1 0 は、胴体 2 の首部 8 に回動可能に取り付けられる。

20

【 0 0 4 1 】

図 5 に示すように、後頭部 1 5 の接合面 1 5 a の略中央には、上下方向に伸びる断面略コ字状のガイド溝 3 5 が形成されている。ガイド溝 3 5 は、底壁 3 5 a と側壁 3 5 b 、 3 5 c で略コ字状となり、接合面 1 5 a の後頭部 1 5 下部から後頭部上端 3 5 d まで延設され、上端が開放されている。ガイド溝 3 5 の底壁 3 5 a には、上下方向に伸びる係合溝 3 6 が形成されている。

【 0 0 4 2 】

図 6 に示すように、顔面部 1 2 の接合面 1 2 a の略中央には、上下方向に伸びる断面略コ字状のガイド溝 3 7 が形成されている。ガイド溝 3 7 は、底壁 3 7 a と側壁 3 7 b 、 3 7 c で略コ字状となり、接合面 1 2 a の顔面部 1 2 下部から顔面部上端 3 7 d まで延設され、上端が開放されている。ガイド溝 3 7 の底壁 3 7 a には、上下方向に伸びる係合溝 3 8 が形成されている。また、前髪部 1 3 の接合面 1 3 a の略中央には、上下方向に伸びる断面略コ字状のガイド溝 3 9 が形成されている。ガイド溝 3 9 は、底壁 3 9 a と側壁 3 9 b 、 3 9 c で略コ字状となり、接合面 1 3 a の前髪部下端 3 9 e から前髪部上端 3 9 d まで延設され、上端及び下端が開放されている。

30

【 0 0 4 3 】

頭体 1 0 は、上記したように、顔面部 1 2 と前髪部 1 3 を後頭部 1 5 に連結して組み立てると、後頭部 1 5 のガイド溝 3 5 に顔面部 1 2 のガイド溝 3 7 と前髪部 1 3 のガイド溝 3 9 が重なり、ガイド凹部 4 1 が形成される。ガイド凹部 4 1 の上端は開放されており、開口 4 2 を形成する。この開口 4 2 は、頭体 1 0 の頭頂部に位置している。この開口 4 2 と、ガイド凹部 4 1 と、係合溝（係合部）3 6 , 3 8 によって案内部 3 4 を構成している。

40

【 0 0 4 4 】

図 5 に示すように、頭体 1 0 の案内部 3 4 のガイド凹部 4 1 内に係止フック 5 0 が上下方向に摺動可能に案内されている。係止フック 5 0 は、細長板状に形成され、上端側（一方）に係止孔 5 1 が形成され、下端側（他方）に係合軸 5 2 が形成されている。係止フック 5 0 は、前記した頭体 1 0 の組み立て時に、係合軸 5 2 の両側を後頭部 1 5 の係合溝 3 6 と顔面部 1 2 の係合溝 3 8 に係合させ、後頭部 1 5 のガイド溝 3 5 と顔面部 1 2 のガイド溝 3 7 及び前髪部 1 3 のガイド溝 3 9 内に挿設しておくことにより、頭体 1 0 内に組み

50

込まれる。

【 0 0 4 5 】

係止フック 5 0 は、係合軸 5 2 が係合溝 3 6 , 3 8 の移動可能範囲で上下することができ、最下位置の時には、上端 5 3 が頭体 1 0 の開口 4 2 を塞ぐようになっている、上端 5 3 は、頭体 1 0 の外面の一部を構成するように湾曲して形成されていても良い。

【 0 0 4 6 】

人形玩具 1 を机、台上に立たせている時は、図 7 (a) に示すように、係止フック 5 0 が自重により頭体 1 0 のガイド凹部 4 1 内に没入しているので、係止フック 5 0 が人形玩具 1 の見栄えを悪くすることなく、邪魔に成るわけでもない(図 2 (a) 参照)。人形玩具 1 を、ストラップ、キーホルダー等の懸吊部材で吊り下げの場合は、人形玩具 1 を逆さまにして、頭体 1 0 の開口 4 2 を下側に向けると、図 7 (b) に示すように、係止フック 5 0 が自重により頭体 1 0 のガイド凹部 4 1 内から突出するので(図 2 (b) 参照)、係止フック 5 0 の係止孔 5 1 にストラップ、キーホルダー等の懸吊部材を引っ掛けて簡単に吊り下げることができる。

【 0 0 4 7 】

上記実施の形態では、係止フック 5 0 に係合軸 5 2 を設け、ガイド凹部 4 1 に係合溝 3 6 , 3 8 を設けたが、逆に係止フック 5 0 に係合長孔 5 4 を設け、ガイド凹部 4 1 に係合突起 4 3 を設けても構わない。即ち、図 8 に示すように、後頭部 1 5 のガイド溝 3 5 の底壁 3 5 a には、係合突起 4 3 が形成されている。図 9 に示すように、顔面部 1 2 のガイド溝 3 7 の底壁 3 7 a には、軸受穴 4 4 が形成されている。頭体 1 0 は、上記したように、顔面部 1 2 と前髪部 1 3 を後頭部 1 5 に連結して組み立てると、後頭部 1 5 の係合突起 4 3 の先端が顔面部 1 2 の軸受け穴 4 4 に嵌合する。

【 0 0 4 8 】

頭体 1 0 のガイド凹部 4 1 内に収納される係止フック 5 0 は、細長板状に形成され、上端側(一方)に係止孔 5 1 が形成され、下部側(他方)に係合長孔 5 4 が形成されている。係合長孔 5 4 は、長手方向に向かって伸びるように形成されている。係止フック 5 0 は、前記した頭体 1 0 の組み立て時に、ガイド凹部 4 1 の係合突起 4 3 を係合長孔 5 4 に係合させ、後頭部 1 5 のガイド溝 3 5 と顔面部 1 2 のガイド溝 3 7 及び前髪部 1 3 のガイド溝 3 9 内に挿設しておくことにより、頭体 1 0 内に組み込まれる。係止フック 5 0 は、係合長孔 5 4 の上下端が係合突起 4 3 に当接するまでの移動可能範囲で上下することができ、最下位置の時には、上端 5 3 が頭体 1 0 の開口 4 2 を塞ぐようになっている。

【 0 0 4 9 】

人形玩具 1 を机、台上に立たせている時は、図 1 0 (a) に示すように、係止フック 5 0 が自重により頭体 1 0 のガイド凹部 4 1 内に没入しているので、係止フック 5 0 が人形玩具 1 の見栄えを悪くすることなく、邪魔に成るわけでもない(図 2 (a) 参照)。人形玩具 1 を、ストラップ、キーホルダー等の懸吊部材で吊り下げの場合は、人形玩具 1 を逆さまにして、頭体 1 0 の開口 4 2 を下側に向けると、図 1 0 (b) に示すように、係止フック 5 0 が自重により頭体 1 0 のガイド凹部 4 1 内から突出するので(図 2 (b) 参照)、係止フック 5 0 の係止孔 5 1 にストラップ、キーホルダー等の懸吊部材を引っ掛けて簡単に吊り下げることができる。

【 0 0 5 0 】

上記実施の形態では、頭体 1 0 に係止フック 5 0 を案内する案内部 3 4 を形成した。案内部 3 4 には、係止フック 5 0 を頭体 1 0 から出沒させる開口 4 2 と、係止フック 5 0 を開口 4 2 に摺動可能に案内するガイド凹部 4 1 と、ガイド凹部 4 1 内に形成され、係止フック 5 0 の被係合部 5 2、5 4 に係合し、係止フック 5 0 の摺動範囲を規制する係合部 3 6 , 3 8、4 3 とが設けられている。この案内部 3 4 が形成された案内部品 6 0 を、図 1 1 に示すように、頭体 1 0 に組み込むようにしても構わない。

【 0 0 5 1 】

案内部品 6 0 は、図 1 3 に示すように、前部品 6 1 と後部品 6 2 の二分割で構成されている。後部品 6 2 の接合面 6 2 a には、一对の嵌合軸 6 4 , 6 4 が形成されている。また

10

20

30

40

50

、前部品 6 1 の接合面 6 1 a には、一対の嵌合孔 6 3 , 6 3 が形成されている。案内部品 6 0 は、前部品 6 1 の一対の嵌合孔 6 3 , 6 3 に後部品 6 2 の一対の嵌合軸 6 4 , 6 4 を嵌合して、前部品 6 1 と後部品 6 2 を連結して組み立てられる。

【 0 0 5 2 】

図 1 3 に示すように、後部品 6 2 の接合面 6 2 a の略中央には、上下方向に伸びる断面略コ字状のガイド溝 3 5 が形成されている。ガイド溝 3 5 は、前述したように、底壁 3 5 a と側壁 3 5 b、3 5 c で略コ字状となり、接合面 6 2 a の後部品 6 2 下部から後部品上端 3 5 d まで延設され、上端が開放されている。

【 0 0 5 3 】

図 1 3 に示すように、前部品 6 1 の接合面 6 1 a の略中央には、上下方向に伸びる断面略コ字状のガイド溝 3 7 が形成されている。ガイド溝 3 7 は、前述したように、底壁 3 7 a と側壁 3 7 b、3 7 c で略コ字状となり、接合面 6 1 a の前部品 6 1 下部から前部品上端 3 7 d まで延設され、上端が開放されている。

【 0 0 5 4 】

図 1 2 に示すように、後部品 6 2 のガイド溝 3 5 の底壁 3 5 a には、係合突起 4 3 が形成されている。前部品 6 1 のガイド溝 3 7 の底壁 3 7 a には、軸受穴 4 4 が形成されている。案内部品 6 0 は、上記したように、前部品 6 1 と後部品 6 2 を連結して組み立てると、後部品 6 2 の係合突起 4 3 の先端が前部品 6 1 の軸受け穴 4 4 に嵌合する。

【 0 0 5 5 】

案内部品 6 0 のガイド凹部 4 1 内に収納される係止フック 5 0 は、細長板状に形成され、上端側（一方）に係止孔 5 1 が形成され、下部側（他方）に係合長孔 5 4 が形成されている。係合長孔 5 4 は、長手方向に向かって伸びるように形成されている。係止フック 5 0 は、前記した案内部品 6 0 の組み立て時に、ガイド凹部 4 1 の係合突起 4 3 を係合長孔 5 4 に係合させ、後部品 6 2 のガイド溝 3 5 と前部品 6 1 のガイド溝 3 7 内に挿設しておくことにより、案内部品 6 0 内に組み込まれる。係止フック 5 0 は、係合長孔 5 4 の上下端が係合突起 4 3 に当接するまでの移動可能範囲で上下することができる。

【 0 0 5 6 】

頭体 1 0 は、図 1 2 に示すように、前頭部 1 1 と後頭部 1 5 の二分割で構成されている。さらに、前頭部 1 1 は、顔面部 1 2 と前髪部 1 3 で構成されている。顔面部 1 2 の接合面 1 2 a には、前記案内部品 6 0 を嵌合する前嵌合凹部 1 9 が形成されている。後頭部 1 5 の接合面 1 5 a には、前記案内部品 6 0 を嵌合する後嵌合凹部 2 9 が形成されている。頭体 1 0 は、顔面部 1 2 の前嵌合凹部 1 9 と後頭部 1 5 の後嵌合凹部 2 9 に案内部品 6 0 を嵌合し、顔面部 1 2 と前髪部 1 3 を後頭部 1 5 に連結して組み立てられる。案内部品 6 0 は、上端開口 4 2 が頭体 1 0 の頭頂部に位置する。

【 0 0 5 7 】

吊り下げ玩具 1 は、頭体（玩具本体）1 0 と案内部品 6 0 が別部品であるため、頭体（玩具本体）1 0 と案内部品 6 0 の材質を異なるようにすることが可能となる。例えば、頭体（玩具本体）1 0 をポリ塩化ビニル等の軟質素材で形成し、案内部品 6 0 を A B S 樹脂等の硬質素材で形成し、係止フック 5 0 を A B S 樹脂又は金属の硬質素材で形成する。このように形成すると、案内部品 6 0 と係止フック 5 0 の硬質素材同士の接触となるので、案内部品 6 0 と係止フック 5 0 の摩擦抵抗が小さくなり、係止フック 5 0 の出沒がより一層滑らかになる。

【 0 0 5 8 】

人形玩具 1 を机、台上に立たせている時は、図 1 4（a）に示すように、係止フック 5 0 が自重により頭体 1 0 のガイド凹部 4 1 内に没入しているので、係止フック 5 0 が人形玩具 1 の見栄えを悪くすることなく、邪魔に成るわけでもない（図 2（a）参照）。人形玩具 1 を、ストラップ、キーホルダー等の懸吊部材で吊り下げる場合は、人形玩具 1 を逆さまにして、頭体 1 0 の開口 4 2 を下側に向けると、図 1 4（b）に示すように、係止フック 5 0 が自重により頭体 1 0 のガイド凹部 4 1 内から突出するので（図 2（b）参照）、係止フック 5 0 の係止孔 5 1 にストラップ、キーホルダー等の懸吊部材を引っ掛けて

10

20

30

40

50

簡単に吊り下げることができる。

【産業上の利用可能性】

【0059】

本願考案は、上部に出没可能の係止フックを備えた人形玩具に利用可能である。

【符号の説明】

【0060】

1	人形玩具（吊り下げ玩具）	
2	胴体	
3	上半身部	
4	腕部	10
5	腕部	
6	脚部	
7	脚部	
8	首部	
8 a	軸部	
8 b	フレンジ	
10	頭体（玩具本体）	
11	前頭部（前体部）	
12	顔面部	
12 a	接合面	20
13	前髪部	
13 a	接合面	
15	後頭部（後体部）	
15 a	接合面	
16 a	中間嵌合凸部	
16 b	中間嵌合凸部	
17 a	下部嵌合凸部	
17 b	下部嵌合凸部	
18 a	上部嵌合凸部	
18 b	上部嵌合凸部	30
19	前嵌合凹部	
26 a	中間嵌合凹部	
26 b	中間嵌合凹部	
27 a	下部嵌合凹部	
27 b	下部嵌合凹部	
28 a	上部嵌合凹部	
28 b	上部嵌合凹部	
29	後嵌合凹部	
31	首部嵌合凹部	
31 a	半軸凹部	40
31 b	半フレンジ凹部	
32	首部嵌合凹部	
32 a	半軸凹部	
32 b	半フレンジ凹部	
34	案内部	
35	ガイド溝	
35 a	底壁	
35 b	側壁	
35 c	側壁	
35 d	上端	50

3 6 係合溝（係合部）

3 7 ガイド溝

3 7 a 底壁

3 7 b 側壁

3 7 c 側壁

3 7 d 上端

3 8 係合溝（係合部）

3 9 ガイド溝

3 9 a 底壁

3 9 b 側壁

3 9 c 側壁

3 9 e 下端

3 9 d 上端

4 1 ガイド凹部

4 2 開口

4 3 係合突起（係合部）

4 4 軸受穴

5 0 係止フック

5 1 係止孔

5 2 係合軸（被係合部）

5 3 上端部

5 4 係合長孔（被係合部）

6 0 案内部品

6 1 前部品

6 1 a 接合面

6 2 後部品

6 2 a 接合面

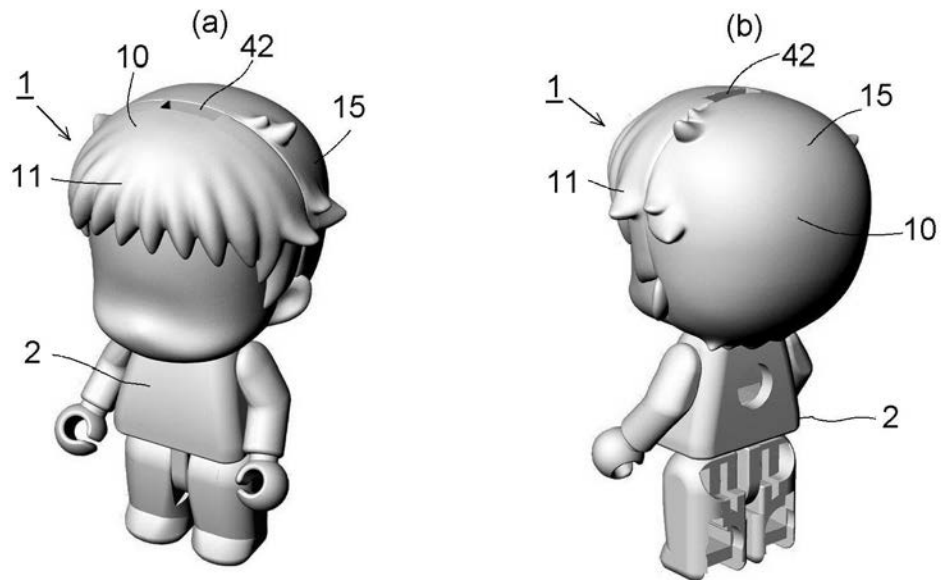
6 3 嵌合孔

6 4 嵌合軸

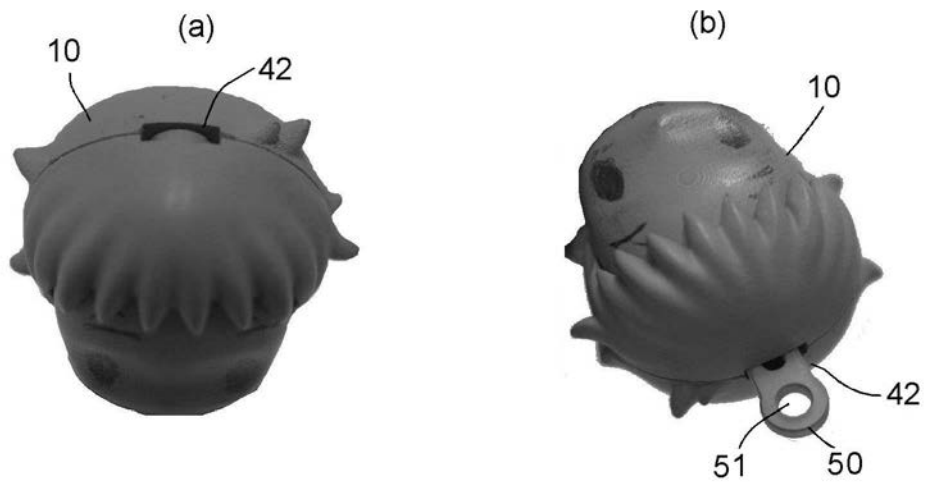
10

20

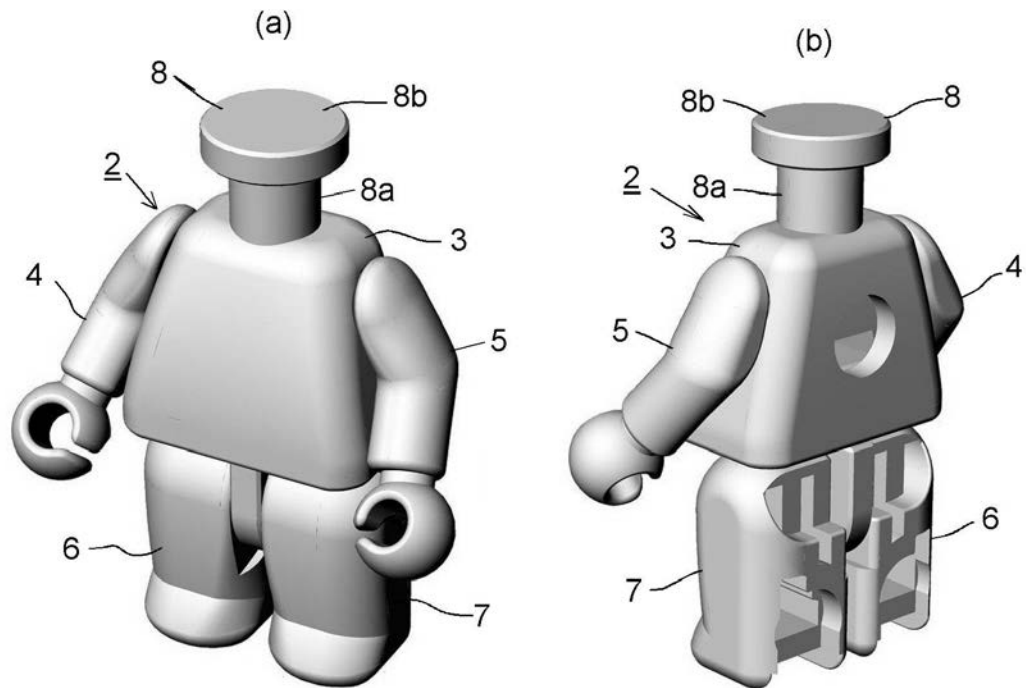
【 図 1 】



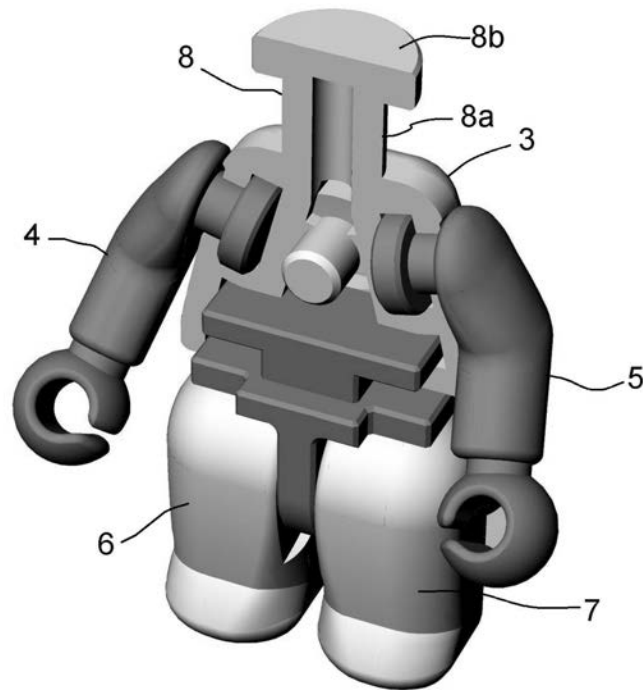
【 図 2 】



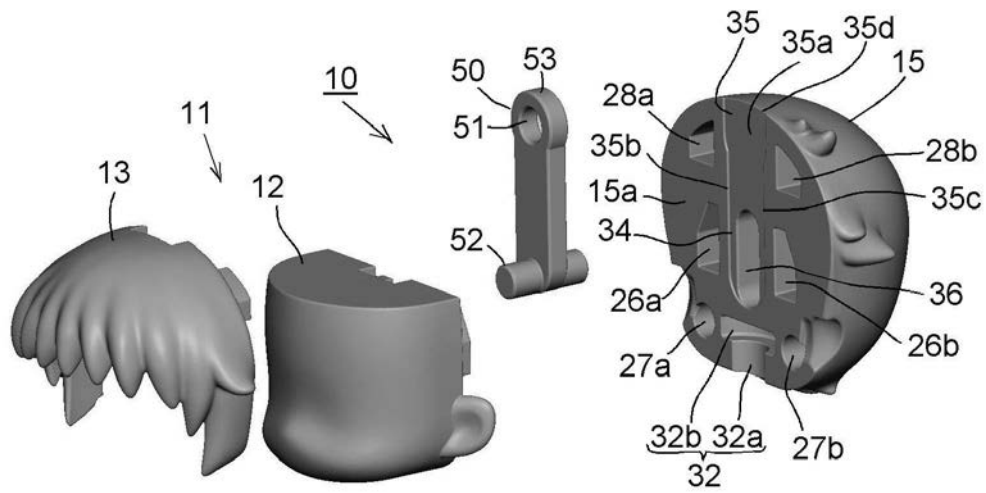
【図 3】



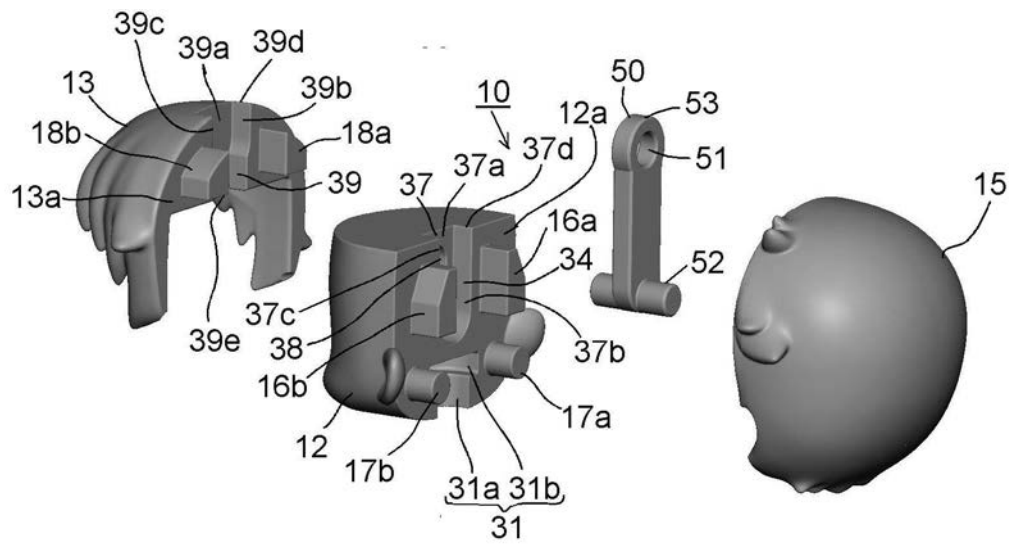
【図 4】



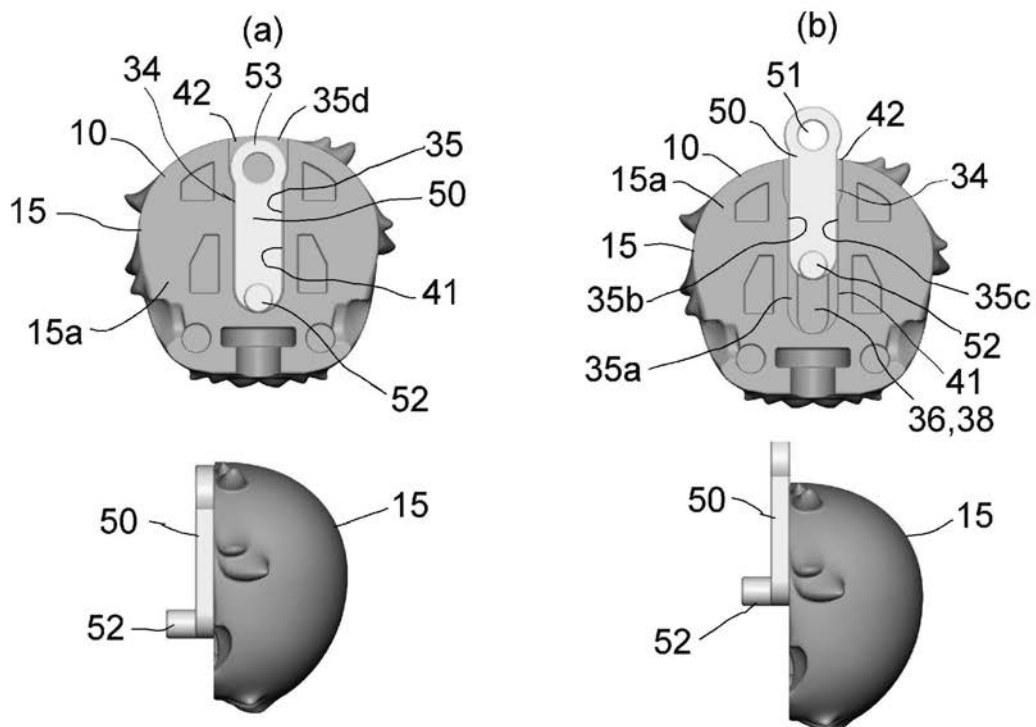
【 図 5 】



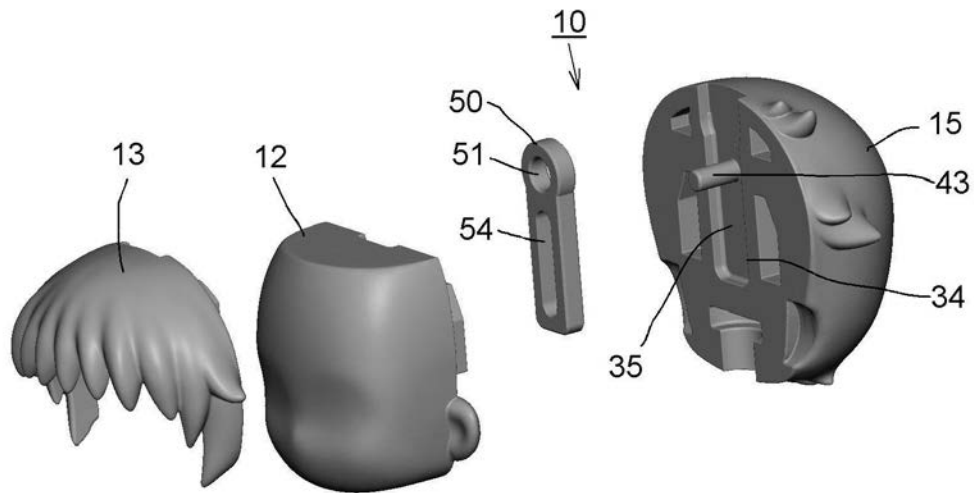
【 図 6 】



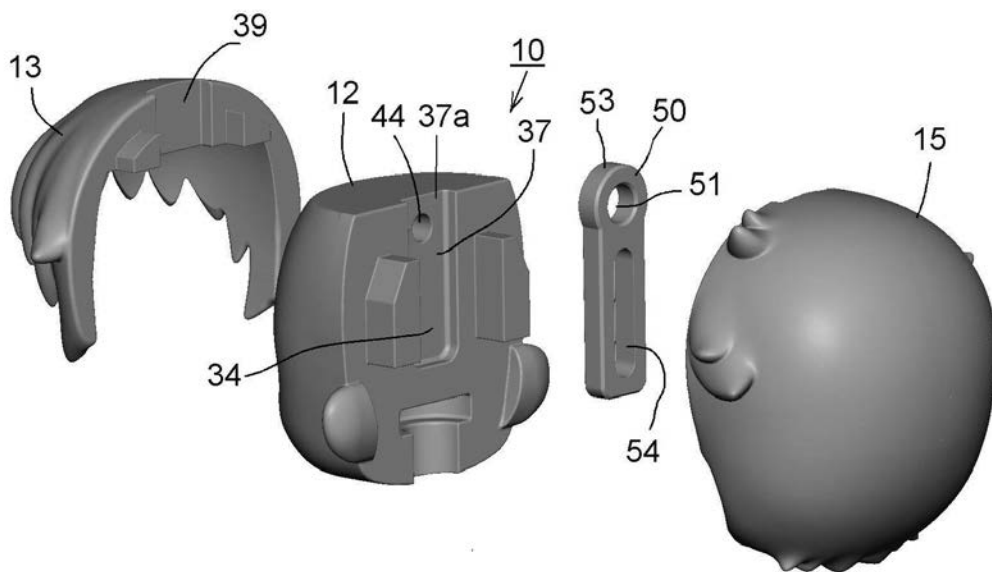
【 図 7 】



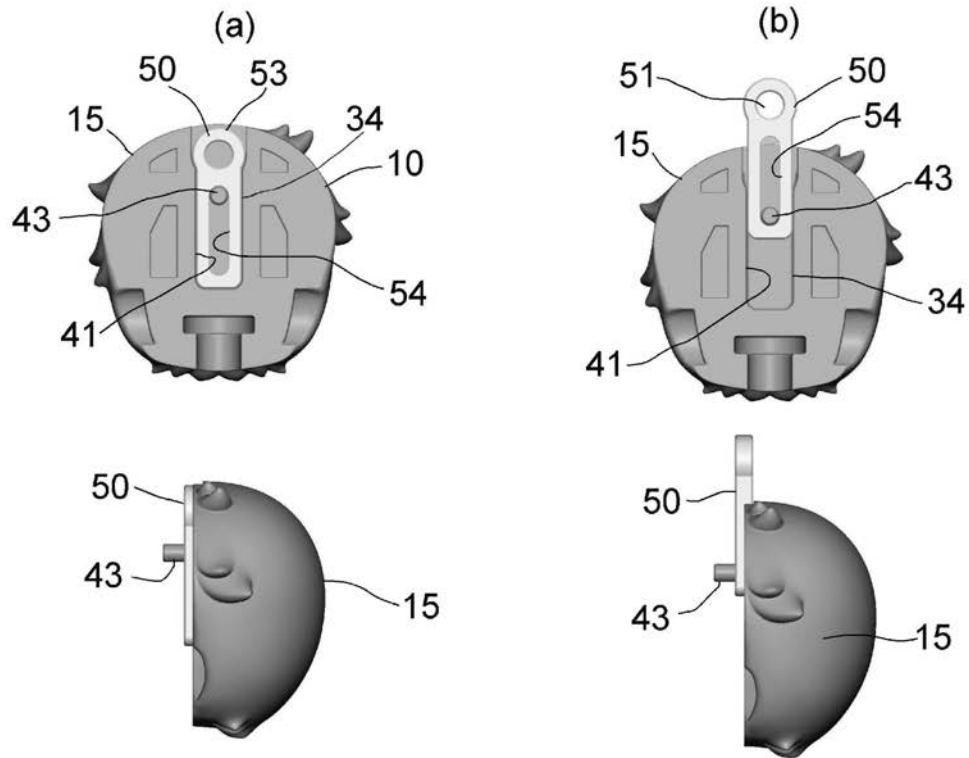
【 図 8 】



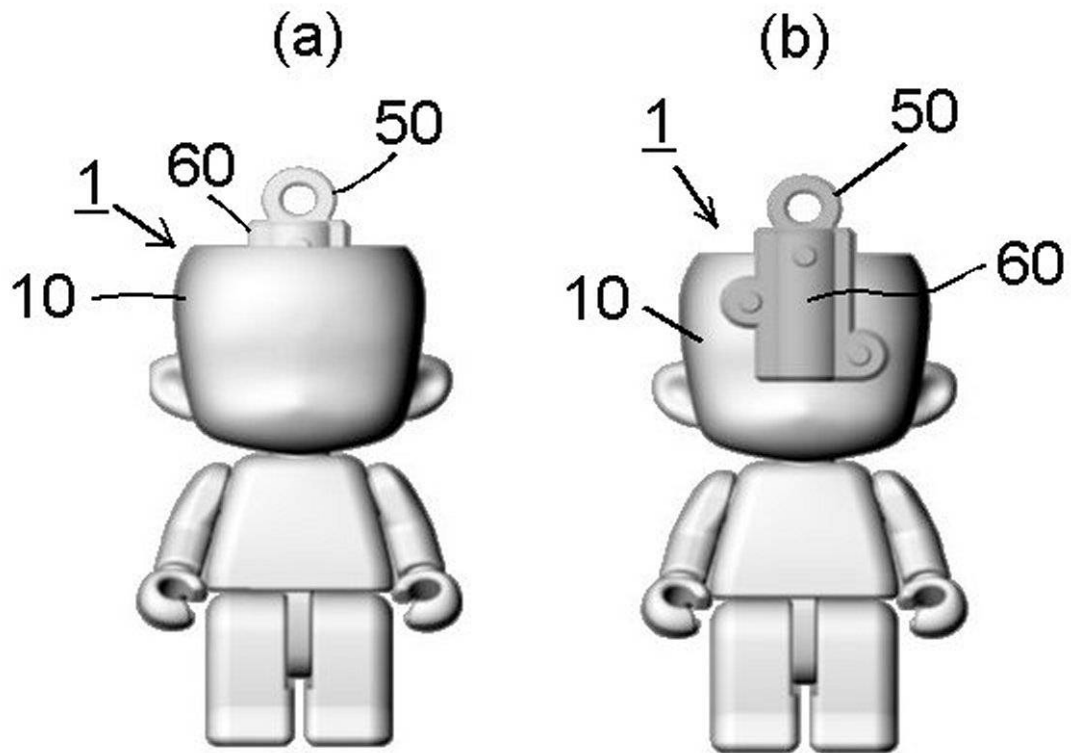
【 図 9 】



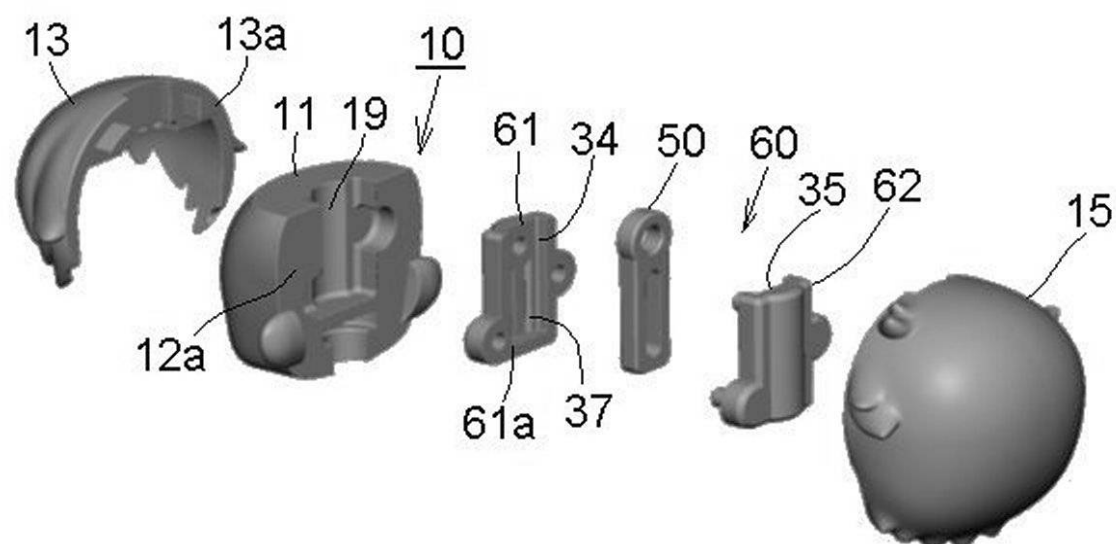
【図 10】



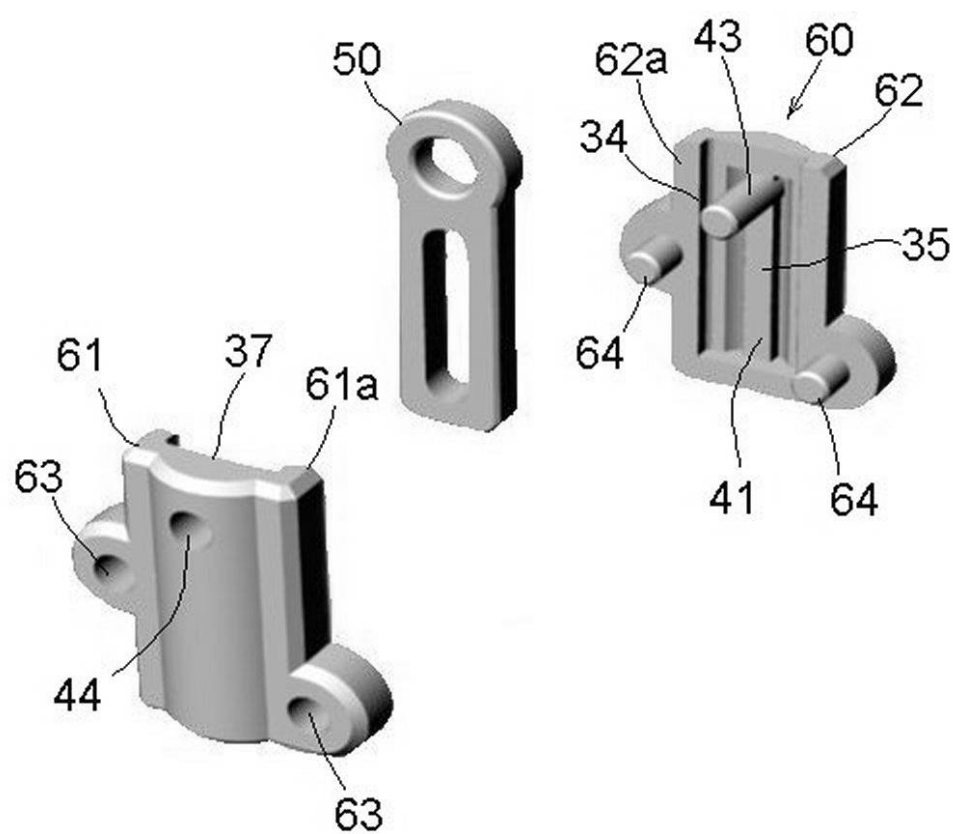
【図 11】



【図 12】



【図 13】



【図 14】

